

2月20日 「思いやりの心 桜野小の子供たち」

2月に入って最後のふれあい月間では、自分がしてもらって嬉しいことをたくさんしてみましようと話しました。どうでしょうか。

先週の出来事ですが、学童の先生からたいへん嬉しいお話をきくことができたので紹介します。

西門を出たところの道路で、一年生が転んで膝に怪我してしまいました。かなり強くぶつけたらしく、膝から血が流れてしばらく動けなくなっていたそうです。その時、そばにいた桜野小の子供たちが大勢集まってきて一年生の世話してくれたそうです。そこには、様々な学年の人がいたらしく

「大丈夫？と声をかける人」

「血が流れないようにティッシュで拭く人」

「保健室、職員室まで先生を呼びに行く人」

「帰り道、一緒に連れて帰ってくれる人」

みんなで、何ができるかを考え、自分からすすんで行動していたそうです。その姿を見て、桜野小学校の子供たちは優しくて思いやりの心をもっていると感じられたそうです。困っている人を見たら、声をかけたり、手助けをしたり、考えて行動できる人は素敵ですね。

そして、もう一つ紹介したいことがあります。今、6年生は、卒業を前にして、お世話になった桜野小学校や在校生のために、何かできることはないかと考え行動しています。先日は校長室まで来て、「校長室で掃除する場所がありますか」と聞きに来てくれました。たいへん嬉しい気持ちになり、廊下に飾ってある額縁を拭いてもらいました。最高学年として、学校のために、在校生のためにと働く姿は素晴らしいと感じます。もし、皆さんのために働いている6年生を見かけたら「ありがとうございます」と声をかけてみてください。

3月1日には6年生を送る会も予定されています。各学年でも準備をしてすすめてください。

最後に、今週の金曜日と土曜日には学校公開があります。今年度最後の学校公開です。お家の人に皆さんの成長や頑張っている姿を見てもらいましょう。